

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	2021年11月18日～2025年11月14日(当初:無期限)	
運用方針	HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、気候変動適応やその国際的な枠組みに沿った低炭素経済への移行に伴うリスクを抑制し、市場機会を獲得することを目指す世界各国の企業の株式から構成される指数 (MSCI World気候パリ協定準拠指数 (円換算ベース)) に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要運用対象	HSBC気候パリ協定準拠株式インデックスファンド	HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド	主に世界各国 (日本を含む) の株式を実質的な投資対象とするETF (上場投資信託証券) を主要投資対象とします。
組入制限	HSBC気候パリ協定準拠株式インデックスファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時 (毎年11月18日、休業日の場合は翌営業日) に、以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC気候パリ協定準拠株式インデックスファンド

償還運用報告書 (全体版)

第4期 (償還日 2025年11月14日)

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC気候パリ協定準拠株式インデックスファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

《お問い合わせ先 (投信営業本部)》

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



HSBC Asset Management

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		MSCI World気候バリ協定準拠指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	み 期騰 落	騰 落	騰 落		
(設定日) 2021年11月18日	円 銭 10,000	—	—	10,000	—	% —	百万円 202
1期(2022年11月18日)	9,659	0	△ 3.4	9,815	△ 1.8	98.6	232
2期(2023年11月20日)	11,845	0	22.6	12,079	23.1	98.6	216
3期(2024年11月18日)	15,369	0	29.8	15,712	30.1	98.8	289
(償還時)	(償還価額)						
4期(2025年11月14日)	17,381.41	—	13.1	18,400	17.1	—	185

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		MSCI World気候バリ協定準拠指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		投資信託 組入比率	
		騰 落	騰 落	騰 落	騰 落		
(期首) 2024年11月18日	円 銭 15,369		% —	15,712	% —	% 98.8	
11月末	15,350	△	0.1	15,697	△	0.1	99.5
12月末	15,939		3.7	16,352		4.1	98.3
2025年1月末	15,697		2.1	16,188		3.0	97.6
2月末	15,092	△	1.8	15,262	△	2.9	98.9
3月末	14,308	△	6.9	14,639	△	6.8	98.9
4月末	13,782	△	10.3	14,123	△	10.1	98.8
5月末	14,832	△	3.5	15,175	△	3.4	98.6
6月末	15,418		0.3	15,820		0.7	99.1
7月末	16,237		5.6	16,653		6.0	99.4
8月末	16,275		5.9	16,787		6.8	96.2
9月末	16,944		10.2	17,411		10.8	98.9
10月末	17,394		13.2	18,487		17.7	—
(償還時) 2025年11月14日	(償還価額) 17,381.41		13.1	18,400		17.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

※MSCI World気候バリ協定準拠指数とは、主に先進国の大型・中型株で構成される親指数MSCI World Indexから、気候変動やパリ協定の要件に沿った低炭素経済への移行に伴うリスクを抑制し、市場機会を獲得することを目指し、構成銘柄の組入比率をMSCI社が決定の上、公表する株価指数です。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

指数の著作権について

MSCI World気候バリ協定準拠指数は、MSCI社 (MSCI Inc.) が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○投資環境と運用状況

設定以来の基準価額等の推移について（設定日2021年11月18日～償還日2025年11月14日）



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。

* ベンチマークは、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

* 当ファンドのベンチマークは、MSCI World気候バリ協定準拠指数（円換算ベース）です。

基準価額の主な変動要因

組入ETFが大幅に上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

投資環境について

第1期（2021年11月18日～2022年11月18日）

【株式市況】

世界の株式市場は、途中上下動を見せながらも下落基調となりました。世界的な供給制約に伴うインフレ圧力の強まり、ウクライナ紛争、欧米など主要中央銀行における金融引き締め政策などが相場の重しとなりました。

【為替相場】

米ドルは対円で、期を通じて大幅に上昇しました。期初から2022年3月上旬にかけて米ドルは円に対して一定範囲内で推移したのち、期末にかけては上昇基調となりました。米国の利上げ開始、その後の利上げペースの加速などを背景に日米金利差が急拡大し、米ドル高・円安要因となりました。ユーロも対円で期を通じて大幅に上昇しました。2022年2月中旬から3月上旬にかけてウクライナを巡る地政学的緊張の高まりを受けて軟調な展開となったものの、その後は欧州中央銀行の金融引き締め政策への移行に伴い上昇基調をたどりました。さらに、英ポンドも円に対して英国の金融引き締め政策などから期を通じて大幅に上昇しました。

第2期（2022年11月19日～2023年11月20日）

【株式市況】

世界の株式市場は、期初から2023年3月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、米国の債務上限問題を巡る懸念の後退、中国の景気支援策への期待などから7月中旬にかけて上昇傾向となりました。その後、米国の長期金利の大幅上昇、欧州の景気減速懸念、中東情勢の緊迫化などにより10月下旬にかけて下落傾向に転じました。期末にかけては、米国の金融引き締め長期化観測の後退に伴い上昇しました。

【為替相場】

米ドルと英ポンドは対円で期初から2023年1月中旬にかけて、ユーロは2023年1月上旬にかけて、日銀の大規模金融緩和の一部修正などから軟調となったのち、米欧英の高金利政策などを背景に期末にかけては各々上昇基調となりました。

第3期（2023年11月21日～2024年11月18日）

【株式市況】

世界の株式市場は期を通じて上昇基調を辿りました。先進国を中心にインフレが落ち着き、欧州、英国、米国にて景気下支えに向けて利下げサイクルが開始されたことなどが上昇要因となりました。

【為替相場】

ユーロは対円で期初から2023年12月中旬にかけて、米ドルと英ポンドは期初から2024年1月初旬にかけて日銀のマイナス金利政策解除観測から軟調となったのち、7月上旬にかけては米欧英の高金利政策などを背景に米ドル、ユーロ、英ポンドはともに上昇基調となりました。その後、英ポンドは8月上旬にかけて、米ドルとユーロは9月中旬にかけて日本の追加利上げや米欧英の利下げに伴い下落傾向に転じました。期末にかけては日本と米欧英との金利差が改めて意識され、米ドル、ユーロ、英ポンドはともに上昇傾向となりました。

第4期（2024年11月19日～2025年11月14日）

【株式市況】

世界の株式市場は、期初から2025年2月中旬にかけて方向感に欠く動きとなったのち、米国の相互関税発表に伴うリスク回避志向の高まりから4月上旬にかけて下落傾向に転じました。その後、世界的に堅調な企業収益や米国の利下げ再開などを背景に期末に向けては上昇基調を辿りました。

【為替相場】

米ドルは対円で期初から2024年12月初旬にかけて軟調となったのち、日本のインフレ率の上昇により2025年1月上旬にかけて反発しました。その後、米国の相互関税発表に伴うリスク回避の円買いから、4月中旬にかけて下落傾向に転じたものの、期末にかけては堅調に推移する米国経済や日銀の利上げ観測の後退などを背景に上昇基調を辿りました。ユーロは対円で期初から2024年12月下旬にかけて一進一退の展開となったのち、2025年2月下旬にかけて欧州中央銀行（ECB）の利下げなどに伴い下落傾向となりました。期末にかけては、ユーロ圏におけるインフレの落ち着きや日銀の利上げ観測の後退などにより上昇基調となりました。英ポンドは対円で期初から2025年4月上旬にかけて一進一退で推移したのち、英国のインフレの落ち着きや日銀の利上げ観測の後退などを背景に期末にかけて上昇基調となりました。

ポートフォリオについて

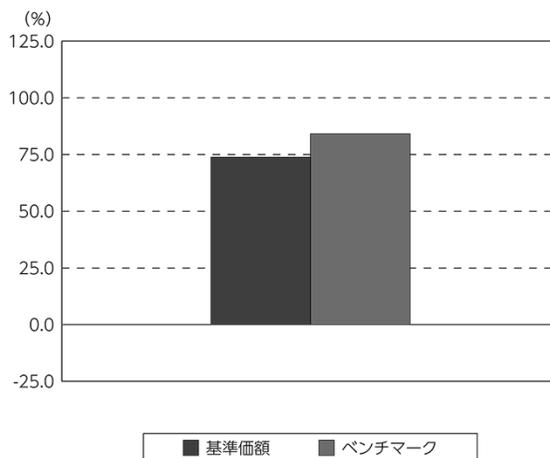
当ファンドは「HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド」への投資を通じて、主として世界各国の企業の株式を実質的な投資対象資産とするETFに投資を行い、対象指数に概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。マザーファンドでは、基本方針に従い、ETFの組入比率は可能な限り高位を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは「MSCI World気候パリ協定準拠指数（円換算ベース）」をベンチマークとし、ベンチマークの騰落率（+84.0%）とのかい離は-10.2%程度となりました。

基準価額がベンチマークを下回った要因は、ベンチマークとETFの評価基準の差異、信託報酬や信託財産の管理に関するコスト負担が発生したことのほか、繰上償還に向けて保有するETFを全て売却したことがあげられます。

基準価額とベンチマークの対比（設定日比騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベースです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI World気候パリ協定準拠指数（円換算ベース）です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 20	% 0.125	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.054)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.054)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.065	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(10)	(0.065)	
(c) そ の 他 費 用	46	0.293	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(15)	(0.098)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(12)	(0.079)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(19)	(0.116)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	76	0.483	
期中の平均基準価額は、15,605円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

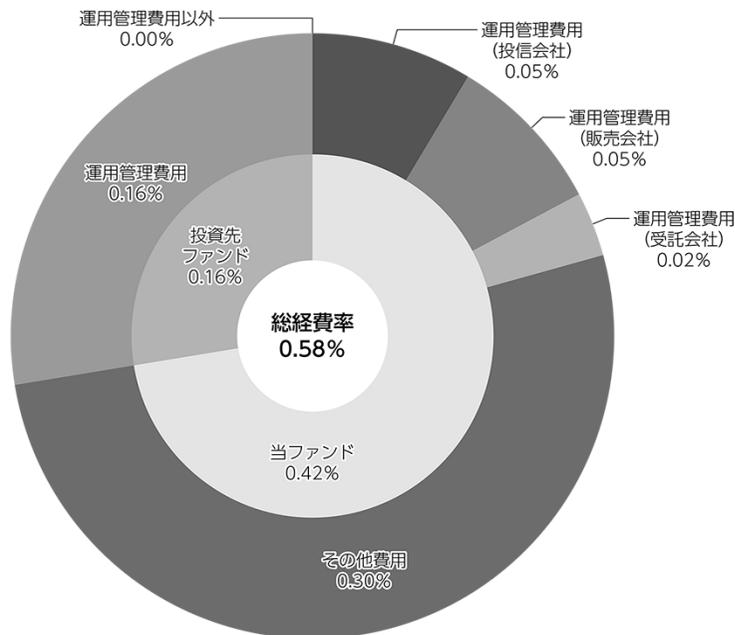
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	0.58
①当ファンドの費用の比率	0.42
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.16
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「HSBC」を含まない投資先ファンドの費用については、②に計上しています。ファンド名に「HSBC」を含む投資先ファンドの費用は②、③に区分して計上していますが、②、③の区分なく費用が公表されている場合は②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月19日～2025年11月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド	千口 20,075	千円 31,398	千口 207,019	千円 350,831

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月19日～2025年11月14日)

利害関係人との取引状況

<HSBC気候パリ協定準拠株式インデックスファンド>

該当事項はございません。

<HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況D	D/C	%
投資信託証券	百万円 6	百万円 6	100.0	百万円 328	百万円 101	30.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額 (A)		167千円
うち利害関係人への支払額 (B)		53千円
(B) / (A)		32.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（香港）です。

○組入資産の明細

(2025年11月14日現在)

2025年11月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
H S B C 気候変動適応株式インデックスマザーファンド			千口 186,943

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年11月14日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他		千円 185,763	% 100.0
投資信託財産総額		185,763	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2025年11月14日現在)

項	目	償 還 時
(A)	資産	185,763,709 円
	コール・ローン等	185,758,366
	未収利息	5,343
(B)	負債	393,117
	未払信託報酬	152,293
	その他未払費用	240,824
(C)	純資産総額(A-B)	185,370,592
	元本	106,648,750
	償還差益金	78,721,842
(D)	受益権総口数	106,648,750口
	1万口当たり償還価額(C/D)	17,381円41銭

(注) 当ファンドの期首元本額は188,414,587円、期中追加設定元本額は20,285,233円、期中一部解約元本額は102,051,070円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.738141円です。

○損益の状況 (2024年11月19日～2025年11月14日)

項	目	当 期
(A)	配当等収益	5,343 円
	受取利息	5,343
(B)	有価証券売買損益	22,165,420
	売買益	33,638,224
	売買損	△11,472,804
(C)	信託報酬等	△ 827,419
(D)	当期損益金(A+B+C)	21,343,344
(E)	前期繰越損益金	42,367,249
(F)	追加信託差損益金	15,011,249
	(配当等相当額)	(10,060,371)
	(売買損益相当額)	(4,950,878)
	償還差益金(D+E+F)	78,721,842

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2021年11月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年11月14日		資産総額	185,763,709円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	393,117円
受益権口数	202,686,566口	106,648,750口	△96,037,816口	純資産総額	185,370,592円
元本額	202,686,566円	106,648,750円	△96,037,816円	受益権口数	106,648,750口
				1万円当たり償還金	17,381円41銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	240,451,175円	232,261,405円	9,659円	0円	0%
第2期	182,378,924	216,020,528	11,845	0	0
第3期	188,414,587	289,568,149	15,369	0	0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	17,381円41銭
----------------	------------

（個人の受益者に対する課税）

※償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の源泉分離課税がかかります。

税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細等については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

○お知らせ

当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還条項に定める口数を下回っており、資産規模が小さく今後も受益権口数の大幅な増加を期待することは難しいと思われたことから、受益者の皆様にご負担いただく費用等を勘案すると、運用を継続するよりも繰上償還し、お預かりした運用資産を早期にお返しすることが受益者の皆様の利益に資すると判断し、投資信託約款の規定に基づき、2025年11月14日をもって信託を終了いたしました。

受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

<約款変更のお知らせ>

2025年4月1日付

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い記載の変更を行いました。

※当ファンドの信託終了日における有価証券の組入れはありません。以下は参考情報です。

◆親投資信託「HSBC気候変動適応株式インデックスマザーファンド」の運用状況

償還日（2025年11月13日）

第4期（2024年11月19日～2025年11月13日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として気候変動適応やその国際的な枠組みに沿った低炭素経済への移行に伴うリスクを抑制し、市場機会を獲得することを目指す世界各国の企業の株式から構成される指数(MSCI World気候パリ協定準拠指数(円換算ベース))に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	主に世界各国(日本を含む)の株式を実質的な投資対象とするETF(上場投資信託証券)を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI World気候パリ協定準拠指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日) 2021年11月18日	円銭 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 202
1期(2022年11月18日)	9,691	△ 3.1	9,815	△ 1.8	98.4	232
2期(2023年11月20日)	11,920	23.0	12,079	23.1	98.5	216
3期(2024年11月18日)	15,513	30.1	15,712	30.1	98.6	289
(償還時) 4期(2025年11月13日)	(償還価額) 17,598.96	13.4	18,727	19.2	—	185

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。(以下同じ。)

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI World気候バリ協定準拠指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		投 資 信 託 組 入 比 率
	円 銭	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2024年11月18日	15,513	—	15,712	—	98.6
11月末	15,496	△ 0.1	15,697	△ 0.1	99.4
12月末	16,095	3.8	16,352	4.1	98.2
2025年1月末	15,855	2.2	16,188	3.0	97.5
2月末	15,248	△ 1.7	15,262	△ 2.9	98.8
3月末	14,461	△ 6.8	14,639	△ 6.8	98.7
4月末	13,934	△10.2	14,123	△10.1	98.6
5月末	14,997	△ 3.3	15,175	△ 3.4	98.6
6月末	15,594	0.5	15,820	0.7	99.0
7月末	16,427	5.9	16,653	6.0	99.3
8月末	16,469	6.2	16,787	6.8	96.1
9月末	17,150	10.6	17,411	10.8	98.8
10月末	17,610	13.5	18,487	17.7	—
(償還時) 2025年11月13日	(償還価額) 17,598.96	13.4	18,727	19.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

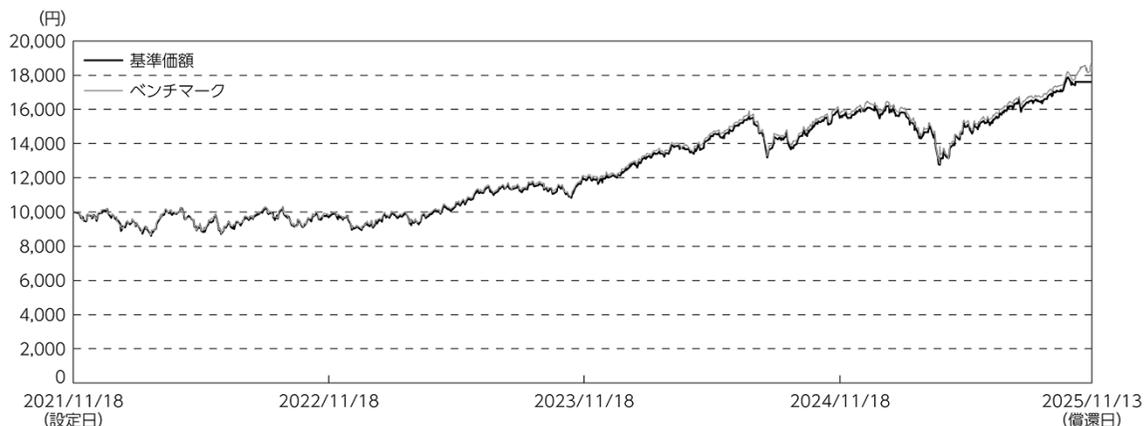
※MSCI World気候バリ協定準拠指数とは、主に先進国の大型・中型株で構成される親指数MSCI World Indexから、気候変動やバリ協定の要件に沿った低炭素経済への移行に伴うリスクを抑制し、市場機会を獲得することを目指し、構成銘柄の組入比率をMSCI社が決定の上、公表する株価指数です。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

指数の著作権について

MSCI World気候バリ協定準拠指数は、MSCI社 (MSCI Inc.) が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○投資環境と運用状況

設定以来の基準価額等の推移について（設定日2021年11月18日～償還日2025年11月13日）



基準価額の主な変動要因

組入ETFが上昇したことにより、基準価額も上昇しました。

投資環境について

【株式市場】

世界の株式市場は、設定日から2022年10月中旬にかけて下落基調となりました。世界的な供給制約に伴うインフレ圧力の強まり、ウクライナ紛争、欧米など主要中央銀行における金融引き締め政策などが下落要因となりました。その後、償還日にかけては上昇基調に転じました。世界的なインフレの落ち着き、主要国における利下げサイクルの開始、世界的に堅調な企業収益などが上昇要因となりました。

【為替相場】

米ドルは対円で、設定日から2022年11月中旬にかけて米国の利上げ開始などから上昇基調となったのち、2023年1月中旬にかけて日銀の大規模金融緩和の一部修正などから軟調となりました。その後、2024年7月上旬にかけては日米金利差を背景に上昇基調となりましたが、2025年4月中旬にかけては一進一退の展開となりました。償還日にかけては、堅調に推移する米国経済を受け、上昇基調に転じました。

ユーロは対円で、設定日から2024年7月中旬にかけて日欧金利差などから上昇基調となったのち、2025年2月下旬にかけて欧州中央銀行（ECB）の利下げに伴い軟調となったものの、償還日にかけては欧州のインフレの落ち着きなどを背景に上昇基調を辿りました。

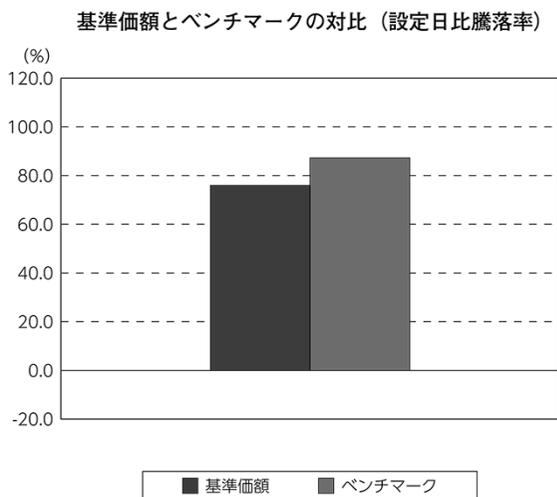
英ポンドは対円で、設定日から2024年7月上旬にかけて英国の金融引き締め政策から上昇基調となったものの、同年8月上旬にかけてイングランド銀行（BOE）による利下げに伴い下落しました。償還日にかけては英国のインフレの落ち着きなどを背景に、上昇基調を辿りました。

ポートフォリオについて

主として世界各国の企業の株式を実質的な投資対象資産とする「HSBC MSCI World Climate Paris Aligned UCITS ETF」に投資を行い、対象指数に概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。ETFの組入比率は、基本方針に従い可能な限り高位を維持しました。なお、繰上償還に向けて、2025年10月に保有するETFを全て売却しました。

ベンチマークとの差異について

基準価額がベンチマークを下回った主な要因は、ベンチマークとETFの評価基準の差異、信託報酬や信託財産の管理に関するコスト負担が発生したことなどです。



(注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI World気候パリ協定準拠指数（円換算ベース）です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 10 (10)	% 0.064 (0.064)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	24 (24)	0.150 (0.150)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	34	0.214	
期中の平均基準価額は、15,778円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2024年11月19日～2025年11月13日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米国	口	千米ドル	口	千米ドル
	HSBC MSCI World Climate Paris Aligned UCITS ETF	1,400	42	63,600	2,148

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月19日～2025年11月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %

(注) 単位未満は切捨て。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	167千円
うち利害関係人への支払額 (B)	53千円
(B) / (A)	32.2%

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（香港）です。

○組入資産の明細

(2025年11月13日現在)

2025年11月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
(米国) HSBC MSCI World Climate Paris Aligned UCITS ETF			口 62,200
合 計		口 銘	数 柄 62,200 1

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年11月13日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 186,314	% 100.0
投資信託財産総額	186,314	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2025年11月13日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	186,314,549
コール・ローン等	186,312,763
未収利息	1,786
(B) 負債	556,183
未払解約金	556,183
(C) 純資産総額(A-B)	185,758,366
元本	105,550,754
償還差益金	80,207,612
(D) 受益権総口数	105,550,754口
1万口当たり償還価額(C/D)	17,598円96銭

〈注記事項〉

※期首元本額	186,943,412円
期中追加設定元本額	20,075,926円
期中一部解約元本額	101,468,584円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 H S B C 気候パリ協定準拠株式インデックスファンド
 105,550,754円

○損益の状況 (2024年11月19日～2025年11月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	87,846
受取利息	87,846
(B) 有価証券売買損益	29,738,624
売買益	39,084,869
売買損	△ 9,346,245
(C) 保管費用等	△ 390,501
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,435,969
(E) 前期繰越損益金	103,053,871
(F) 追加信託差損益金	11,322,140
(G) 解約差損益金	△ 63,604,368
償還差益金(D+E+F+G)	80,207,612

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

<約款変更のお知らせ>

2025年4月1日付

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い記載の変更を行いました。

<その他のお知らせ>

当マザーファンドは、2025年11月13日をもって信託期間を終了しました。